

ウラジオストクの生活と経済の状況

フジヤトフ・タギル
極東連邦大学・ウラジオストク
2021年4月23日

ウラジオストクの生活と経済の状況

- (1) コロナの現状
- (2) 生活様式の変化
- (3) ビジネス面での変化
- (4) 経済状況

ロシア極東管区の地図

ロシア地図 (青く塗られた部分が極東連邦管区)



(1) コロナの現状

事例: 沿海地方(2021年4月22日現在)

感染確認(累計) 43307人

死者数(累計) 706人

退院 40690人

PCRテスト回数 954059回

一日ごとの感染者数 30-40人
(2021年1月のピーク時、200人以上)

(1) コロナの現状: Stop Coronavirus



(1) コロナの現状

ワクチン接種状況(沿海地方)

ワクチンの大半はSputnik V

施設数 52ヶ所

少なくとも一回接種した人(累計) 88000人
(人口の5%未満)

接種が完了した人(累計) 59000人
(人口の約3%)

無料

(1) コロナの現状：出入国の状況

2020年、 JAL(2月28日), ANA(3月16日)によるウラジオ
 =東京直行便開設

2020年3月23日からすべての国際便中止

2020年11月、東京行き、ソウル行き(週一回)



(2) 生活様式の変化

事例：

- 外出自粛、移動制限
- マスク着用
- イベント開催、参加禁止
- 外食企業、ショッピングセンター閉店(デリバリー、ベランダOK)
- 学校・大学はオンライン授業
- テレワーク

(2) 生活様式の変化



(3) ビジネス面での変化

沿海地方は、コロナウィルスの拡大を防止する対策ですが、工業、農業、建設業、輸送業などの主要な産業に直接的にかかわっていない。

一方、休業要請などの制限は観光業、外食業、ホテル業などのサービス産業に損害をもたらした。特に、2020年4月－6月に規制が厳しかった。

参考：2019年、外国人約1,000,000人、ロシア人約3,000,000人の観光客が訪れた沿海地方の観光業は閉店と観光客人数の減少のため困っている。

(3) ビジネス面での変化

外食業は、2020年3月末から7月まで、デリバリかテイクアウトだけが許されていた。

その結果、たとえば、沿海地方とハバロフスク地方では、外食業の売上高は前年同期と比べて、2020年4月に50%ダウン、5月に60%ダウンしたことが確認されている。



(4) 経済状況

- 沿海地方とハバロフスク地方では、失業者数は一時的に(たとえば、2020年5月に)100%増を示しています(前年5月と比べて)。
- 納税額が減って、地方の予算に影響を及ぼしている。
- 中国との貿易にも、影響が感じられている。中国側によるコントロールが厳しくなっているので、一日に通関できるトラック台数が減少して野菜・果物などの供給が減っている。代わりにアゼルバイジャン、ウズベキスタン、ベラルーシなどの遠い外国から輸入が増えているが、輸送費が高く物価の値上がりが見える。

(4) 経済状況

新型経済特区
(TOR)

23特区
494入居企業



(4) 経済状況

ウラジオストク自由港 (SPV)

自由港はウラジオストクのほかに5つの地方にある21の市・地区が構成する。

入居企業数は合計2104社。
外資系企業 (TORと自由港) は約100社。

日本企業の事例はマツダ自動車、飯田グループ、日揮 (JGC)、Sojitz Corp., 北海道総合商事など。

